

東部地区コミュニティ施設（仮称）整備事業（案）に対する町民 コメント実施結果について

「東部地区コミュニティ施設（仮称）整備事業」（案）に対して、町民の皆さまから御意見を募集しました結果について、御意見の概要と御意見に対する町の考え方は次のとおりです。

貴重な御意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1 町民コメントの実施結果

案件名	東部地区コミュニティ施設（仮称）整備事業（案）
実施期間	令和6年7月30日（火）～8月30日（金）
案の公表方法	1 指定する場所での閲覧又は配布 （役場町民コーナー、町民センター、図書館、 ビ・エール） 2 町ホームページへの掲載
御意見等の提出方法	郵送、ファックス、電子メール、LINE回答フォーム、ご意見箱への投函
結果の公表方法	町ホームページ
御意見等の 提出者数・件数	提出者数：9人 件数：9件 【提出方法内訳】 郵送：0人、ファックス：0人、電子メール：1人、 LINE回答フォーム：7人、ご意見箱：1人

※ 御意見については、原文のまま掲載しています。

2 御意見の概要と御意見に対する考え方

年代	50
ご意見	地域住民が使いやすくしてほしい。そもそも加工施設は必要なのか疑問に思います。まわりの意見を無視して押し進めるのはどうかと思います
町の考え方	<p>本施設のコンセプトや機能の検討に当たりましては、地域の幅広い世代、職種の方から構成する「東部地区コミュニティセンター運営協議会」を設立し、その中で意見交換を重ねながら原案をまとめ、地域住民説明会で御意見も伺いながら計画案を作成してまいりました。</p> <p>今後におきましても、町民の皆さまから御意見をいただきやすい環境づくりに努め、地域活性化に資する施設整備を目指してまいります。</p>

年代	40
ご意見	北区行政区会館もあるので必要だと思う。
町の考え方	<p>東部地区には、小規模多機能施設「七彩」や行政区会館である「朗根内ことぶきの家」などの施設が点在しておりますが、それぞれ利用者の減少や老朽化等の課題を抱えております。</p> <p>本施設は、これらの施設を再構築し、地域生活を支える「小さな拠点」として整備することで、安心して暮らして行くために必要な環境を維持し、地域住民と行政、事業者がそれぞれの役割を分担しながら協力し、元気でいきいきと活躍できる圏域づくりを目指していくものです。</p>

年代	60
ご意見	<p>美瑛町健康と福祉のまちづくり委員をしています。 整備事業（案）概要を全く知りません。 そのような中で、意見回答はできません。 委員会の皆さんや町民の皆さんは整備事業（案）概要を理解しているのでしょうか。 LINEで意見をまとめる前に、本事業の理解度調査をすべきでないのでしょうか</p>
町の考え方	<p>本施設の検討に当たりましては、これまで地域住民説明会やまちづくり委員会において町民の皆さまと意見交換を行いながら、この度公表しました計画案を作成してまいりました。 今後におきましても、自治基本条例の理念に基づき、事業計画の進捗にあわせて情報公開を行いながら、適切な時期に町民参加を求めてまいります。</p>

年代	50
ご意見	<p>そもそも誰が言い出したのか？ 小学校校舎の有効活用ではダメなのか？ 事業案として予算に記載がない 他に支援すべき 収支が伴わないのであれば実行する必要はないと考える</p>
町の考え方	<p>令和4年8月に地元期成会から「東部地区コミュニティセンター計画案」について要望書が提出された以降、地域住民と行政、事業者が一体となって協議・検討を進めてまいりました。</p>

町の考え方	<p>明德小学校には現在16人の児童が在籍しており、今後5年間は同程度の児童数で推移する見込みであること、また、現在計画中のコミュニティ施設として、校舎は大規模な建物であること等から、地域に点在する施設を再構築し、地域生活を支える「小さな拠点」としての整備を計画するものです。</p> <p>現時点は実施設計の素案を作成した段階であり、事業費（イニシャル、ランニング）に関する試算は次の段階となりますが、補助金等の有効な財源の確保とともに、低コストな施設の整備に努めてまいります。</p>
-------	--

年代	30
ご意見	<p>ここまで詳細な事業計画案ができているのであれば、大まかな事業予算額とこの施設の維持管理にかかる年間の費用はすでに出ていると思われる。その情報が無いと施設の各機能の要否の判断ができません。事業予算と、この施設の維持管理経費の大まかな見積額は提示していただきたいです。</p> <p>また、保育所機能もある施設ですが、対象地区の人口動態を考えた時に本当に必要なのか、代替可能ではないのか、必要なくなった時にそのスペースはどのように活用することが見込まれるかは説明をいただきたいです。</p>
町の考え方	<p>現時点は実施設計の素案を作成した段階であり、事業費（イニシャル、ランニング）に関する試算は次の段階となりますが、補助金等の有効な財源の確保とともに、低コストな施設の整備に努めてまいります。</p> <p>御指摘のとおり、東部地区における保育対象の幼児数は減少傾向でありますので、地域振興の観点からも朗根内へき地保育所の存続に向けた取組を進めつつ、本施設に整備する保育所機能は休止後の活用も考慮した上で、大人の見守りの中で地域の子どもたちが安心して集える居場所としての機能を検討してまいります。</p>

年代	不明
ご意見	<p>市街地の飲食店さんがコミュニティ施設で月替り営業、もしくは今後開業したい方のチャレンジ営業、スーパーやコンビニ、ドラッグストアの移動販売などの検討求む。</p> <p>観光の方も東川方面へ向かうために通る道路でもあるので、観光の方が寄って行けるような場所（飲食やお土産など）、第2の白金ビルケとしての運営もよいのでは。</p>
町の考え方	<p>買い物支援や飲食店など、住民自らが地域課題を解決するためのコミュニティビジネスにつきましては、引き続き「東部地区コミュニティセンター運営協議会」の中で具体的な検討を進めてまいります。</p> <p>また、交流人口の増加の視点からも、地域の農産物を加工・販売する機能を持たせるなど、地域振興に資する施設の在り方を検討してまいります。</p>

年代	50
ご意見	<p>コミュニティ施設は必要だと思います。</p> <p>しかし、新規で建てるのではなく、既存してある建物をリノベーションとして、検討を考えたら良いと思います。</p> <p>新規で作る事は費用がかかるかと思います。</p> <p>ビエールの様なリノベーション建物を参考にはいかがでしょうか？</p>
町の考え方	<p>現在のへき地保育所や行政区会館は、老朽化が著しく、リノベーションによる整備は難しい状況にありますが、建物本体の利活用は難しくとも、再利用可能な設備等は積極的に活用し、環境に優しい施設整備に努めてまいります。</p>

年代	70
ご意見	<p>●本案は、新しい公共施設の建設について町民意見を求めるにあたり財政の情報（※1）を提供していません。自治基本条例（※2）に反すると思います。これでは町民は部分的な判断しかできません。ふつう町民は家計全体を見て、総予算・資金繰り・返済・維持費を総合的に見て新築などを判断します。・・・（※1：予算総額、財源の内訳、将来負担（返済）の見とおし、維持費の見とおし。）（※2：第5章の「町民の知る権利」と、町民の役割の「自らの発言と行動に責任を持つ」を連動させる点、「説明責任」や「財政運営」の条項の遵守という点に反する。）</p> <p>●本施設の町債の完済前に、保育所機能の利用者が激減すると推測できますが、どうですか？そうであれば、将来において保育機能の閉鎖を検討すべき基準や、転用・代替の可能性についても計画に盛り込んでおくのが望ましいのではないのでしょうか？</p> <p>●本案件の展開で、令和5年度美瑛町財政運営計画に美馬牛駅前コミュニティの建設が掲載されています。小規模多機能施設がある地域のコミュニティが優先の印象です。その他の限界集落となりつつあるコミュニティの再生を後回しで、共有ビジョンの「安心して住み続けられるまち」はできますか？難しい問題を先送りにしないでください。</p>
町の考え方	<p>現時点は実施設計の素案を作成した段階であり、事業費（イニシャル、ランニング）に関する試算は次の段階となりますが、補助金等の有効な財源の確保とともに、低コストな施設の整備に努めてまいります。</p> <p>また、本施設の検討に当たりましては、これまで地域住民説明会やまちづくり委員会との意見交換を行いながら、この度公表しました計画案を作成してまいりました。今後におきましても、自治基本条例の理念に基づき、事業計画の進捗にあわせて情報公開を行いながら、適切な時期に町民参加を求めてまいります。</p> <p>御指摘のとおり、東部地区における保育対象の幼児数は減少傾向でありますので、地域振興の観点からも朗根内へき地保育所の存続に向けた取組を進めつつ、本施設に整備する保育所機能は休止後の活用も考慮し</p>

町の考え方	<p>た上で、大人の見守りの中で地域の子どもたちが安心して集える居場所としての機能を検討してまいります。</p> <p>本施設の計画につきましては、地域からの要望を受けて検討を進めており、地域で暮らす住民が中心となって、地域を支える多様な活動を行うための拠点づくりを目指すものです。本施設の在り方は、本町の将来的なコミュニティ活動に関する新たなモデルとして、その他の地域におきましても、地域の特性に応じながら展開できるよう取組を進めてまいります。</p>
-------	---

年代	不明
ご意見	学校を活用すべき
町の考え方	<p>明德小学校には現在16人の児童が在籍しており、今後5年間は同程度の児童数で推移する見込みであること、また、現在計画中のコミュニティ施設として、校舎は大規模な建物であること等から、地域に点在する施設を再構築し、地域生活を支える「小さな拠点」としての整備を計画するものです。</p>